

# 三重県東日本大震災支援本部 第19回本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成27年3月18日（水）10:20～10:45
- 2 開催場所：県庁3階プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●説明、☆意見）

## 1 各部署の取組について

- 防災対策総務課長 資料1・2により説明

## 2 現地派遣職員による活動報告について

### (1) 「福島県で実施した食品中の放射性物質検査業務」

- 防災対策部防災企画・地域支援課 村田 将 主事 資料3により説明

### (2) 「宮城県への派遣における報告」

- 県土整備部県土整備総務課 高田 祐孝 主査 資料4により説明

#### ☆危機管理統括監

加工食品の検査の依頼は、どこからあるのか。

#### ●村田主事

依頼検査という形ではなく、行政検査という形で行っている。

#### ☆危機管理統括監

口に入れる状態で検査するという、科学的な知見も大事なので、周知して欲しい。

#### ☆知事

現地の人たちの気持ちの状況、意識の変化をどう感じているか。

#### ●村田主事

職場が被災して臨時的に衛生研究所に勤務していた職員は、気持ち的に回復していない印象を受けた。心の復興の面では、被災された方はまだまだだと思う。

#### ●高田主査

地元の人が少ないので、聞ける機会が少ない。仮設住宅から通勤している職員は明るく振る舞っているが、自分の家でないことは辛いことだと思う。

☆知事

- ・ 現象として見えるものでも、気持ちというものでも、復興はまだまだ道半ばであると思うので、被災地の皆さんに長く寄り添っていく必要がある。一方的な支援ではなく、ともに成長し合うような交流でなければ、長くは続けられない。交流によって復興を応援するよう、各部局で知恵を出して長く寄り添っていくこと。
- ・ 県内には、約470名の避難者がいらっしゃることを常に意識し、引き続き必要な情報が確実に届くようにしていくこと。
- ・ 平成27年度も被災地へ職員を派遣するので、派遣職員活動記録集などを活用し、各部局は側面からしっかりとサポートをしていくこと。